

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 23-012

PDCA	事務事業名	橋梁維持修繕事業(維持修繕・改修)	部課等名	建設部土木課	建設担当	担当 内線等	鶴飼 437	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち						
		節： 第2節 都市基盤の整備						
		基本施策： 3. 交通体系						
		単位施策： (2) 生活道路の整備						
根拠法令等	個別施策： ②道路の長寿命化対策							
対象・目的	主要な橋梁の適切な維持管理							
目的を達成するための手段・活動内容	定期的な点検を実施し、計画的かつ予防保全的な維持管理を行う。							
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①橋梁修繕を実施した橋数		3	5	48	橋	
		②橋梁点検を実施した橋数		0	10	33	橋	
		事業費		53,195	45,527	58,410	千円	
		人件費		3,378	2,301	2,469	千円	
		総事業費		56,573	47,828	60,879	千円	
	成果	活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①橋梁修繕1橋にかかるコスト		18,858	8,542	1,011	千円	
		②橋梁点検1橋にかかるコスト		0	512	376	千円	
		成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①修繕橋梁数	実績値	3	5	48	橋	
			目標値	3	5	48		
②点検橋梁数	実績値	0	10	33	橋			
	目標値	0	10	28				
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ある	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—		
	事業の評価・課題	B						
		修繕計画に基づく、48橋の修繕を実施し、適切な維持管理を行うことができた。また、33橋の定期点検を実施し、そのうち、簡易的な構造の8橋については、職員が目視点検を行い点検費用のコスト縮減を図ることができた。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持						
		引き続き、予防保全の観点から定期点検を実施し、発見された異常箇所の修繕、改修を計画的に進めていく。また、職員が目視点検や道路パトロールにより、異常箇所の早期発見と点検費用のコスト縮減に努める。						
	令和3年度の目標	成果指標				目標値	単位	
		①橋梁修繕を実施した橋数				4	橋	
②橋梁点検を実施した橋数				30	橋			